

「卒業式が盛大に行われました」

85人の生徒が3月13日、巣立ちの時を迎えました。今年度の卒業式は1、2年生による式歌もあり、コロナ禍前とほぼ同じ内容で行いました。今年度の卒業生は運動面や生徒会活動で、めざましい活躍がありました。式中の歌声にも学年らしさが表れ、これまでの思い出が参加者の心によみがえりました。生徒代表の矢内陽人さんは「努力すれば報われます。これは私が小野中で過ごして学んだことです。」と別れのことばで後輩たちにエールを送りました。



「令和5年度卒業証書授与式」

令和5年度卒業証書授与式が3月1日に挙行されました。

今年度は35人の卒業生が卒業証書を手し、3年間の思い出のつまった学び舎から飛び立っていきました。

式では、2年生の佐藤雄斗さんが在校生を代表して送辞を、卒業生を代表して石黒華蓮さんが答辞を述べました。

雨で迎えた卒業式も、いつの間にか青空に変わり、卒業生35人は晴れやかな笑顔で、新たな一歩を踏み出しました。

3年間温かく見守っていただいた小野町の皆さんに深く感謝を申し上げます。

今後とも本校の教育活動に対するご理解とご支援をお願いいたします。



「令和6年度入学者選抜合格発表」

令和6年度入学者選抜試験の合格発表が3月14日に行われました。

多くの受験生が緊張した表情で待つ中、正午に合格者が発表されると、多くの笑顔が見られました。

合格された皆さんおめでとうございます。これから小野高校で一緒に「夢をカタチに」していきましょう。皆さんと楽しい学校生活を過ごせることを楽しみにしています！



君の夢をカタチに！！
福島県立小野高等学校



福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63
TEL 0247-72-3171 FAX 0247-72-6211
<http://www.ono-h.fks.ed.jp>

「6年生を送る会」

6年生を送る会が2月20日に行われました。今まで小野小学校の最上級生として、下級生にいろいろと教えてくれた6年生に感謝の気持ちを伝えるとともに、6年生との楽しい思い出作りのために、5年生が中心となって企画しました。

体育館での楽しいゲームやクイズに、全校生の歓声が響きました。6年生がお礼に披露した合唱では、すばらしい歌声に感動して涙する下級生もいました。卒業生と在校生の温かな気持ちが感じられた素敵な時間となりました。



「そなえるふくしま防災出前講座」

「そなえるふくしま防災出前講座」が3月6日に実施されました。県の危機管理課の職員から3年生と5年生に日ごろの備えや災害が起きた時の安全の確保の仕方など、大切なことを教えていただきました。東日本大震災の体験談なども交えたお話に子どもたちは熱心に耳を傾けていました。

災害から身を守るためにも、今後も防災教育の充実に努めたいと思います。





3歳児よい歯の表彰式

おめでとうございます これからも歯を大切に



3歳児よい歯の表彰式が3月19日、子育て支援課キッズルームで行われました。

今回表彰されたのは、令和5年11月と令和6年2月の3歳児健診を受けて、むし歯が1本もなかったお子さんです。

お子さんは一人ひとり、町長から表彰状と記念品を受け取りました。

表彰を受けたお子さんは次のとおりです。(敬称略)

表彰を受けたお子さん

根本 柚華	今泉 伊織	駒木根 行人
佐藤 陽日	村上 愛桜梨	甲野藤 結夏
村上 侍朗	舘川 笑和	先崎 奏太
新田 涼乃	小松 海斗	宗像 優愛
村上 三華	橋本 來龍	



健やかな成長を願って

笑顔とがんばり子育て応援金贈呈



新たな町民の誕生を祝福し「小野町笑顔とがんばり子育て応援金」が贈られました。

あわせて町有林の間伐材で作られた子ども用いす「おめでたいっすー」と乳児期から読書にふれてもらうための「絵本セット」が贈られました。

贈呈を受けたお子さんは次のとおりです。(敬称略)

阿部 日咲	大内 郁人
國分 暁真	舘川 瑚千
吉田 伊吹	渡辺 朱俐



おひさまカフェのお知らせ ~友だちを誘って遊びませんか~

開催日

月曜日・水曜日・金曜日

開設時間

午前10時から午後3時まで

料金

無料

問い合わせ

☎おのまち認定子ども園 ☎73-8321

実施内容

■おひさまカフェの開放(親子で遊ぼう)

子ども園の保護者の方や地域の子育て家庭の親子が気軽に集まることができる交流の場で、子ども園に入園していないお子さんも、園内の遊具などで遊ぶことができます。

■子育て相談(ママさん110番)

保護者の方が抱える子育ての不安や悩みに関する相談を行います。

■地域の子育て情報提供

子育て中の方へ地域情報や育児・子育てに関する情報を提供します。



たくさんの思い出をありがとう

毎日子どもたちの元気な声が響き、にぎやかな子ども園。4月当初は保護者と離れるのが寂しくて泣いていた小さいクラスの子どもたちは、少しずつ園の生活に慣れ、今ではたくさんのお友だちに囲まれ、毎日元気に体を動かしています。天気の良い日の戸外遊びは、砂遊びや遊具遊びを楽しみ、子どもたちの笑い声が絶えません。散歩にも出掛け、園外での活動も積極的に取り組んでいます。

大きいクラスの子どもたちは、英語教室やみっちゃんダンスなど、さまざまな教育があり、真剣な眼差しがうかがえます。自然保育を体験することで、子

どもたちの発見や気づきを大切に、そこから遊びを発展させることもあります。また運動会や発表会ではクラスの団結を深め、それぞれの持つ力を発揮し、多くの成長を見せてくれました。

今年度は新型コロナウイルスが5類となり、さまざまな制限が緩和され、たくさんの行事を通して保護者の方々に子どもたちの姿を見ていただくことができました。今後も各種感染症対策に努めながら、子どもたちの「楽しい！」がたくさん聞かれる子ども園にしていきたいと思ひます。

おのまち 地域おこし協力隊活動記

発酵の里こうざき研修・米麴づくりを行いました

こんにちは。産業6次化・発酵のまちづくり分野担当の石川隼人です。栃木県からまいりまして、昨年12月から地域おこし協力隊として活動しています。

今回は千葉県神崎町発酵の里こうざきの研修と、味噌部会の皆さんと行った米麴づくりについて報告します。

研修では味噌玉づくりと藍染め体験を行いました。どちらも発酵が関係する体験教室としては30分程度の

短時間で完成することができると、大人も子どもも楽しめるものでした。施設見学では日本各地の発酵食品を見て回り、参加した皆さんと実際につくってみたいものもいくつか見つけました。

次に、4日間かけて行った米麴づくりについてです。味噌やみりん、清酒などの和食をつくる上で欠かせない食品には米麴がとて

大切で、日本酒業界では昔から「一麴二酏三醱」と言われるほど麴の出来栄は重要です。したがって、小野町産の米を使用し良い麴をつくるのが味噌をつくる上でとても重要になるため、今回の米麴づくりはその第一歩となります。

工程は米を蒸かし、麴菌をなじませ40℃で温め続けるというもので、文字で記すと簡単に思えますが、何せ相手は生き物である菌のため微妙な温度調整や水加減、米の品種で仕上がりが大きく変わってしまいがちです。部会の中には実際に自身で何度もつくっている



全体を均一にするための切り返しの様子



蒸米に麴菌をつける様子

方もいて、意見を出し合い、教え合いながら工程が進んでいく手際の良さに驚きました。今回はまだまだ改善が必要な結果でしたが、次回をもっと安定しておいしい米麴をつくっていきま

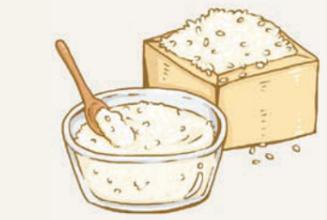


仕上がった麴米を確認する様子

米麴づくりが終わると手作りのおいしいお菓子や漬け物が振る舞われ、わいわいおしゃべりしたり漬け物の作り方を教わったりして楽しいひと時を過ごしました。皆さんは大変パワフルで、年下であり普段あまりテンションが高くないタイプの人でも「こっちはおいでー」「これ食べなー」とど

んどん誘っていただき、気づいたら輪の中に入っていました。これを読んで楽しそうと思った方は、ぜひ味噌部会に入ってみてください。

私は小野町に来て小泉武夫先生の本を読んで、より発酵食品の重要さに気づき



今回の担当は…

いしかわ はやと
石川 隼人 隊員
担当/農業・6次化と発酵のまちづくり分野
主な活動場所/小野町役場



自身の生活にも取り入れています。活動を通して皆さんにも発酵食品を口にする機会が増えたら良いなと考えています。今後ともよろしくお願ひします。

おのまち 地域おこし協力隊活動記

小野町の魅力を発信しています！

小野町の皆さん、はじめまして！

1月から移住・定住・交流分野担当の地域おこし協力隊として活動している成井秋暁です。少しずつ小野町の方々と交流する機会が増えてきてうれしいです。

ここからは私が小野町に来てから2月末までの活動を報告します。

まず町や道を覚えてくると車を走らせました。仙台屋や文化の館、諏訪神社など知らない土地ゆえにナビを使



用してもこの道で合ってる？となることもしばしば…。活動の一つとしている移住者アンケートとインタビューでは、移住され新しい土地で生活をはじめられた方々の声を聴いてこれから小野町に来たいと考えている人の後押しとミスマッチをできる限り減らすことを目的としています。

私も小野町に来て数カ月経ちますが、親切な人ばかりですよ。それ以来来た身としても過ごしやすさを感じています。

現在、何より力を入れてるのが情報発信です。小野町の魅力をたくさんの人に知ってもらい、小野町はいいところなんだ！と思っていただけるよう毎日考えながら投稿しています。オススメのスポットがありましたらぜひ教えてください。



私が管理しているのはInstagramで町内の写真や参加したイベントなどを投稿しています。画像のQRコードをスマートフォンで読み込んでいただくとアカウントのプロフィール画面に飛びますのでよろしかったらフォローしてください。これからよろしくお願ひします！

今回の担当は…

なるい ときあき
成井 秋暁 隊員
担当/移住・定住・交流分野
主な活動場所/つどっておのまち



自衛隊入隊予定者激励会 吉田大輝さん(平舘)

令和5年度小野町自衛隊入隊予定者激励会が3月11日、多目的研修集会施設で行われました。

この激励会は、小野町自衛隊家族会、自衛隊福島地方協力本部および町が共催したもので、入隊予定者の吉田大輝さん(平舘)に対し、町長、栗木茂幸自衛隊福島地方協力本部長、吉成久男小野町自衛隊家族会会長から激励の言葉が送られました。また町と家族会から記念品が贈呈されました。

入隊予定者の吉田さんが「本日、皆さまからいただいた言葉を忘れず、1日でも早く立派な自衛官になれるよう頑張ります」と力強くあいさつし、今後の活躍を誓いました。



吉田大輝さん(前列中央)